

原料調達から製造まで

キミカは南米チリの海岸に漂着した海藻を有効利用し、生態系を破壊することなく、アルギン酸を製造する。漂着海藻は海岸に面した広大な砂漠を利用し天日乾燥させ、人工的なエネルギーを消費しない。大量の海藻在庫を保有し海藻需給の緩衝とすることで、海藻価格の変動を抑え、価格高騰時に誘発される投機的な海藻相場を抑制する。

食品安全安心・環境貢献賞

キミカ

活水準を飛躍的に向上させた。電力、化学薬品などの使用を最小限に抑えた独自の製法を開発、太陽光パネルを工場屋根に設置し再生可能エネルギーを生産するなど、生産活動に伴う環境負荷も軽減する。海藻残さには付加価値を付け、肥料として農家に無償提供し、農業支援にも貢献する。原料調達から製造方法まで、SDGsに即した手法を採用する。

海藻資源保全が最重要

アルギン酸には改良剤など食品の品質を向上する優れた機能がある。パンの弾力性や食感を向上する、即ち、ほかに使えない間に含まれる天然多糖類、席巻のしこしこ感を出す、プラントベースミート（植物性代替肉）に、食品の品質改良剤としてアルギン酸を抽出し、アルギン酸を製造している。外国企業は生

きた海藻を大量に刈り取って使用するので、破壊しないように、コ

低コストで収穫はできるものの環境負荷は大きい。同社は生態系を破壊しないように、コ

ストはかかるが、あくまでも人手をかけて拾い集めた「漂着海藻」の使用にこだわっている。

エル・ニーニョ現象による海藻不漁や、一部の心ない業者による投機的な海藻の買い占めなど、同社は幾度となく原料海藻が不足する危機に直面してきた。この経験から「海藻資源の保全が事業継続の最重要課題である」と認識するようになった。国内唯一のアルギン酸メーカーとしての供給責任を果たし

た。35年前には、南米チリに進出し、南半球唯一のアルギン酸工場を立ち上げ、現

在、品質に関するマネジメントシステムのISO9001はもちろ

る。食品安全に関する国際規格FSSC 22000の認証を取

得て、世界の名立たる食品メーカー、医薬品メーカーからの信頼を勝ち取り、業界での

世界トップ企業に成長した。認証に関しては、安全プラントでは品質と安全にこだわらず、コシヤ（ユタヤ）認証やハラル（ムスリム）認証など宗教食にも対応している。



アルギン酸を抽出した後の海藻残さは良質な肥料として付加価値を付け近隣農場で活用されている



チリの海岸に漂着した海藻



最新鋭の自動化ラインを導入して異物混入を防止し、作業の軽労化も実現している

受賞ポイント

漂着海藻有効活用し品質改良型アルギン酸製造

会社概要

▽社名「キミカ」代表者「笠原文善」創業「1941年5月」資本金「1億円」従業員数「173人」グループ計「378人」▽本社所在地「東京都中央区八重洲2-4-1」事業内容「アルギン酸、キトサンなどのマリ

ンバイオポリマーならびにその応用製品の製造販売」日本で初めて天然多糖類アルギン酸の工業的生産に成功し、以来八十

アルギン酸トップ誇る

余年にわたりさまざまな変革する社会的ニーズに俊敏に応えつづ品質の向上、安定供給に努める。業界での国内シェアは9割を超え、高い品質が求められる食品、医薬品グレードにおいては世界トップシェアを誇る。安定供給を確保する生産体制、高品質を約束する品質保証体制を整え、少量のスポット生産からマスプロまで幅広いニーズに対応する。

地球に優しい企業



笠原文善社長

35年前には、南米チリに進出し、南半球唯一のアルギン酸工場を立ち上げ、現在、品質に関するマネジメントシステムのISO9001はもちろ

昆布の粘り酸



株式会社キミカは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています

